

『金とブス』 作：ポチ子

デパートで化粧品を買った。

ついでに流行りの年相応の服も買った。

その後に美容室で、

髪質改善うんちゃらかんちゃらの、

高いトリートメントをした。

高い化粧品は使い心地が良くて、

毛穴もうまく隠れた。

新品の服は可愛いし、

髪の毛はさらさらになった。

それで鏡を見て、

ブスだなと思う。

こんなに金をかけても、

鏡に映る自分は結局ブスのまま。

何にも変わりはない。

あの子は無地のシンプルな服。

化粧だってそこらへんで買ったやつで、

なぜか髪の毛は元々さらさらだ。

それでいつも可愛い自分が鏡に映る。

何もかも違う、初めから。